

大安寺報

〔花まつりに寄せて〕

お釈迦さまのご誕生エピソード

に込められた意味とは？

近年稀にみる大雪のため開花が遅れていた桜の花も、ゴールデンウィークを迎え、やっとその姿を見せてくれました。

五月八日は月遅れの「花まつり」。お釈迦さまの誕生を皆でお祝いする日です。摩耶夫人が、六本の牙を持つ白象が胎内に入る夢を見てお釈迦さまを懐妊されたことに因んでまつられた白象の前に誕生仏を安置し、甘茶をかけてお祝います。甘茶をかけるのは、お釈迦さまが誕生された際、八大龍王が産湯に甘露を注いだというエピソードに因んだもの。

また、お釈迦さまが誕生された際、人間たちだけでなく、動物たちも、心の中の、死に対する恐怖心がなくなり、天や地が喜びにつつまれたと經典では言われています。そのような喜ばしい記念日だからこそ、今に生きる人間たちも、この日ばかりは憎しみ合うことをやめ、仲良く和合するのです。桜も満開となり、春のやわらかな日差しが注ぐ五月八日を、これまで大畑の人たちが陣取りや、花見などをして和やかに仲良く楽しんできたことは、その由来にかなっているのです。



また、最も有名なのは「生まれてすぐ自ら立ち、北に向かって七歩歩み、天上天下唯我独尊とおっしゃった」という話。このエピソードの中の「自ら立った」という部分に、大きな意味があります。つまり、誰かに依存して「立たせてもらう」のではなく、しっかりと自分自身の責任で「自立しなさい」という意味です。「自分」という寄る辺をしつかり築かなくては、人を助けることもままなりません。その「自立」のための教えや、方法が仏教の教えの中には沢山示されています。この花まつりが、多くの方々にとつて、仏さまの教えに親しむきっかけになればと念願しております。

桜の花は、誰に頼まれるでもなく、水

や、日光、養分などに支えられつつも、「自らの本分」で自立して咲き、私たちの目を楽しませてくれます。私たちも、この桜のあり方を見習いたいものです。

合掌

当寺の最新情報はこちらをご覧ください

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>

twitter

@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。

facebook

<http://www.facebook.com/daijanji>

※ご覧いただく場合は、facebook アカウントが必要です。



携帯サイト QR コード

仏事

Q & A

第十二回

Q. 「位牌」の意味とは？

A. 位牌は、故人の戒名、俗名、死亡年月日、年齢などが記された木製の牌です。亡き人の依り代として、中国から伝わりました。位牌は亡き人の象徴であり、亡き人と対話するためのよすがとなります。位牌には、白木の位牌（仮位牌）と塗り位牌（本位牌）があり、一般的には忌明け（三十五日・四十九日）まで仮位牌を用い、以後は本位牌を用います。

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏（なむしゃかむにぶつ）